

第9回企画展

宇宙と人類の未来

Dreams Beyond Legends Towards Space Science

— かがや姫から宇宙船まで — 1997年4月26日(土) ~ 6月15日(日)

■開館時間 / 午前9時30分~午後5時(入館は4時30分まで)
 ■休館日 / 毎週月曜日(但し5月5日(月)は開館、6日(火)が休館)
 入館料 / 大人 710円(570円) 高・大学生 430円(290円) 小・中学生 140円(70円)
 ※ ()内は20名以上の団体料金
 ※ この料金には常設展・野外施設入場料が含まれています。

◎次回企画展: 「アマルガサウルの棘突起はなぜ長い」 1997年7月5日(土)~9月15日(月)
 -アルゼンチンの恐竜と自然-

[企画展記念講演]
 「宇宙への夢と宇宙開発」

講師 / 的川 泰宣氏
(文部省宇宙科学研究所教授)

日時 / 5月3日(土) 午後1時より
 会場 / 博物館3階 映像ホール

※参加を希望される方は、事前に電話で博物館に申し込んでください。
 ※事前に宇宙やロケットなどについての質問を往復はがきで受け付けます。
 詳しくは、博物館へお問い合わせください。

主催 / ミュージアムパーク 茨城県自然博物館 後援 / 科学技術庁・宇宙開発事業団・文部省宇宙科学研究所

ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
 〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000
 ハローダイヤル いばらき029-226-8600 #8886(プッシュ回線)

「宇宙と人類の未来」

Dreams Beyond Legends Towards Space Science

- かぐや姫から宇宙船まで -



宇宙から見た地球はなんて美しいのでしょうか。36年前、世界で初めて宇宙を飛んだユーリ・ガガーリンは、「地球は青かった」という言葉を残しました。また、月へ向かうアポロ8号が映し出した闇の中に浮かぶ青く輝く地球は、多くの人々に感動を与えました。

しかし今、この生命であふれる地球も、オゾン層の破壊、熱帯雨林の減少、砂漠の広がり、大気汚染など、広い範囲にわたっているいろいろな危機にさらされています。そして、これらのことは、人工衛星で地球観測を行うようになってより明らかになってきたのです。

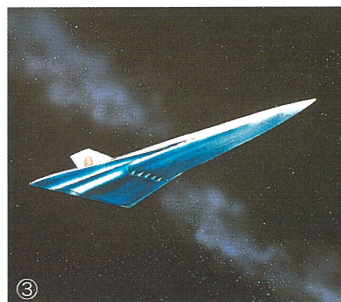
宇宙空間の利用は、現在、地球周辺に限られていますが、近い将来、宇宙ステーションの建設、月・火星への進出など、さらなる飛躍を目指しています。

今回の企画展では、宇宙へのあこがれから現在・未来へ通じる宇宙開発の姿を、実物資料・模型・映像・参加体験装置で紹介します。また、月の石、火星起源の隕石も展示します。

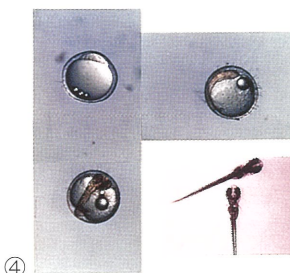
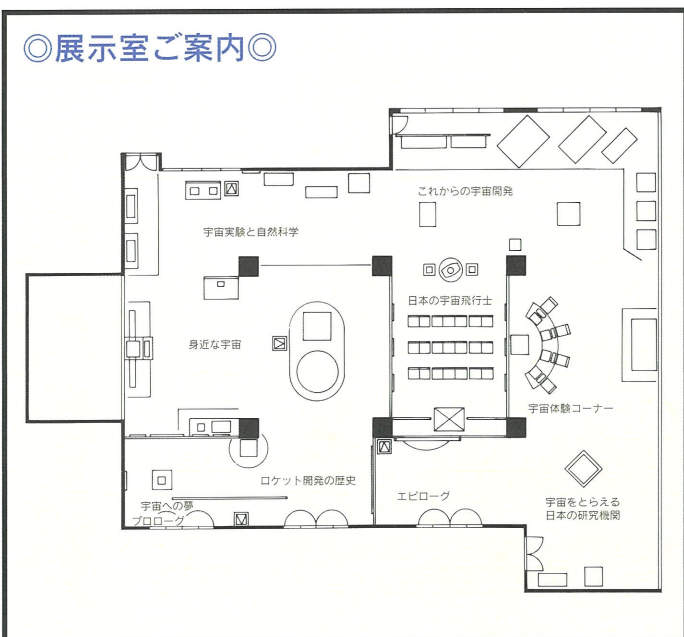
これらの展示を通して、宇宙開発がもたらす大きな夢と可能性、そして地球環境の保護について考えていただければと思います。

展示内容

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 宇宙への夢 | 5 日本の宇宙飛行士 |
| 2 ロケット開発の歴史 | 6 これからの宇宙開発 |
| 3 身近な宇宙 | 7 宇宙体験コーナー |
| 4 宇宙実験と自然科学 | 8 宇宙をとらえる日本の研究機関 |



◎展示室ご案内◎



①ひまわり5号からの雲の画像(写真提供:NASDA)
 ②環境観測技術衛星(写真提供:NASDA)
 ③スペースプレーン(写真提供:NASDA)
 ④宇宙メダカ(写真提供:NASDA)
 ⑤M-V ロケット(写真提供:文部省宇宙科学研究所)